

# 平成20年度社会実験実施箇所

箇所名：島根県津和野町  
実験名称：地域住民との協働によるリバーシブル歩道空間創出実験  
実施主体名：津和野町まちづくり検討委員会  
実施期間：平成21年1月10日(土)～2月1日(日)のうち土・日・祝と2月7日(土)～15日(日)

## 1. 地域の現状と課題

- ・本町は、旧津和野藩の城下町の佇まいを今に残し、歴史と文化の町で、島根県内でも有数の観光地である。近年、観光客の減少が見られたが、昨年(平成19年)は石見銀山の世界遺産登録の影響もあり、年間100万人の観光客を回復したばかりである。
- ・津和野町の観光の中心となる橋北地区のうち、萩津和野線は歩行者優先道路としての整備が行われその利用も定着しているが、「高岡通り」は車利用と観光客の徒歩、自転車利用が混在する状況となっており、観光繁忙期には、自動車交通と歩行者・自転車が錯綜し、安全面が不十分となっている。

## 2. 実験内容

- ・沿道の民地及び車道部を活用した歩道空間の創出  
民地(犬走り部)を取り込み、車道部を利用して歩行空間(2.0m程度)を創出する。
- ・地域住民との協働による道路運用実験  
西側に歩行空間創出するための視線誘導ポールの設置・撤去を協議会で実施する。
- ・環境にやさしい低炭素観光地を目指す実験  
町営駐車場に車を止めレンタサイクルを利用した人に駐車場の無料券を発行する。

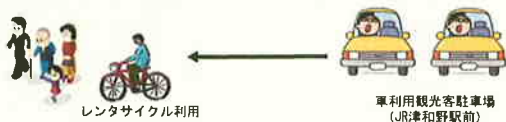
## 1. 位置図・実験概要等



【歩行空間創出実験】 【地域住民協働実験】



【低炭素観光地化実験】



## 高岡通りの歩行者

